愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	谷口 正博	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では人間が本能的に感じる「美」「感動」といったエモーショナルな情動、情感が、実社会においてどのように分布、配置され機能しているのかを調査研究し、その傾向と現状について考察を行います。 そして、実際に多くの人に「ステキ」と感じるものはどのように作り上げることが可能なのか、その高度な専門性と特別なスキルに頼らない両極な手段を、思考方法から実作業を通して、プロジェクトとして企画を立案し実現までを体験します。 総合演習Ⅰから継続する形で、映像メディア系統の学習となります。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	創造性のある行いが機能する様子を、実在するコンテンツやサービスを例として観察、分析し、それらを模倣～発展させ、そして独自の表現、伝達手段となり得る各種スキルを演習・実技方式で学習します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の内容・進め方について	□
第2回	「ステキ」調査研究レポートの振り返り①	印刷メディアで作られたコンテンツの展開可能性の考察	□
第3回	「ステキ」調査研究レポートの振り返り②	内容、テーマを同じ設定として、映像メディアで再構成する	□
第4回	「ステキ」調査研究レポートの振り返り③	内容、テーマを同じ設定として、映像メディアで再構成する	□
第5回	映像メディアの公開、発信、配信①	ネット動画コンテンツとして配信するための知識、注意点	□
第6回	映像メディアの公開、発信、配信②	配信コンテンツ企画立案	□
第7回	映像メディアの公開、発信、配信③	配信コンテンツの試験公開	□
第8回	光による空間演出① ライティング	日常空間における「照明」の考察 自宅、自室の照明装置の観察	□
第9回	光による空間演出② ライトアップ	日常空間における補助・追加「照明」の考察 ピンスポットライト、スタンドライト、ロウソク、提灯など補助照明への意識	□
第10回	光による空間演出③ イルミネーション	日常空間における補助・追加「照明」の考察 個人宅イルミネーション「イエナリエ」の現状 季節コンテンツとしてのイルミネーション	□
第11回	光による空間演出演習	実際の空間を通常と異なる照明により演出を試みる	□
第12回	総合イルミネーションとしてのプロジェクションマッピング	「映像」を「光」として活用することで、イルミネーションは大幅なアップデート可能となることを実証	□
第13回	プロジェクションマッピング企画制作① 場所の選定	実際の空間を選定し、プロジェクションを実現するための作業を実施する	□
第14回	プロジェクションマッピング企画制作② 投影コンテンツ制作	実際の空間を選定し、プロジェクションを実現するための作業を実施する	□
第15回	プロジェクションマッピング企画制作③ 実施・公開	プロジェクションマッピングの公開・発表	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

日々の生活の中からクリエィティブ要素の考察を習慣付けし、エンターテイメント分野に関しても一消費者に留まらず、積極的にその構造や本質を好奇心を持って知ろうと心がけてください。 各回の授業内容に沿ったクリエィティブ関連分野について調べ、ノート、テキストデータにまとめる。（事前学習2時間程） 配布資料、授業内容を振り返り要点をまとめた資料作成。（事後学習2時間程）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

興味関心を持つ分野に限らず、その魅力を言語化図像化し伝える事ができているか。 自身の持つイメージを「企画」として発表する能力を習得できているか。 調査分析レポート、企画書の提出などで総合的に評価する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。 表現分野に関する基本を知ることが出来ているか 編集技法の基礎を理解し実践出来ているか
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えた上で、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。 思っていること、考えたことを言語非言語を問わず伝達する基本を身につけたか
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。 積極的な表現につながっているか

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		50%	30%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

編集制作スキルの修得度合を評価します

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テーマに沿った内容の資料データを各回配布します	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		